

羽生市 御中

令和7年度糖尿病性腎症重症化予防対策事業 保健指導業務 事業報告書

2026年3月

株式会社ベネフィット・ワン
ヘルスケア統轄事業部

目次

1. 保健指導

(1) 事業概要	3
ア 目的	4
イ 実施内容	4
ウ 募集方式	5
エ 実施時期	6
オ 参加市町 (52市町)	7
(2) 事業実績	8
(3) 事業効果	11
ア 検査値・健診値(HbA1c)の分析	12
イ 検査値・健診値の平均値比較	13
ウ 保健指導修了者の行動変容の状況・達成度の分析	14
エ 対象者アンケート	17

2. 継続支援

(1) 事業概要	18
ア 目的	19
イ 実施内容	19
ウ 実施時期	20
エ 参加市町	20

目次

(2) 事業実績	21
(3) 事業効果	24
ア 検査値・健診値(HbA1c)の分析	25
イ 検査値・健診値の平均値比較	26
ウ 継続支援修了者の行動変容の状況・達成度の分析	27
エ 対象者アンケート	30
3. かかりつけ医アンケート	31
4. 参加勧奨の状況	33
5. サポートセンター受付状況	35

※注 数値は四捨五入によるため、合計とその内訳が一致しない場合がある

1. 保健指導

(1) 事業概要

1. 保健指導 (1) 事業概要

ア 目的

糖尿病性腎症重症化予防プログラム（以下「予防プログラム」という。）に基づき、糖尿病の重症化リスクの高い者について、通院治療中の者に通院先の医療機関の医師（以下「かかりつけ医」という。）の指示に基づき保健指導を行うことにより、糖尿病性腎症の重症化予防を促進し、国民健康保険被保険者の健康維持、医療費の適正化を実現する。

イ 実施内容

- ① 予防プログラムの抽出基準に合致する保健指導候補者（以下「候補者」という。）に対して、保健指導通知書を発送し（※）、希望する市町においては、電話番号を把握している方に対して非専門職から電話による参加勧奨を実施した。

※パターン1：5月23日 パターン2：6月30日

- ② 対象者が参加申込し、かかりつけ医から推薦、及び指示依頼書を取得した対象者に対して、7月～12月の期間に保健指導を実施した。

- ③ 保健指導修了者から聞き取った検査値（初回支援と最終支援）の変化から健康状態の確認を行った。

また、保健指導修了者から取得したアンケートから、自己管理の実施状況の確認を行った。不参加者については、令和6年度と令和7年度の特健診の結果が両方あるものについてその変化の確認を行った。

【予防プログラムの抽出基準】

- ◆ 令和6年7月から令和6年12月診療分までのレセプトで、レセプトデータの傷病名に糖尿病、その合併症の記載があり、経口血糖降下剤、インスリンなど、糖尿病に関わる投薬がある方
- ◆ 上記のうち、レセプト・健診データから糖尿病性腎症の判定ステージ（仮）が第2期、第3期及び第4期と判定された方
- ◆ ただし、予防プログラムの除外要件になっている「がん等で終末期にある者」「認知機能障害がある者」「糖尿病透析予防指導管理料の算定対象となっている者」に該当する方は除外

病期2期
(面談1回+電話3回)

病期3・4期
(面談2回+電話2回)

面談

電話

電話

電話

面談

1. 保健指導（1）事業概要

ウ 募集方式

保健指導は2つの募集方式から市町にて選択し、参加者を募集した。

【パターン1】

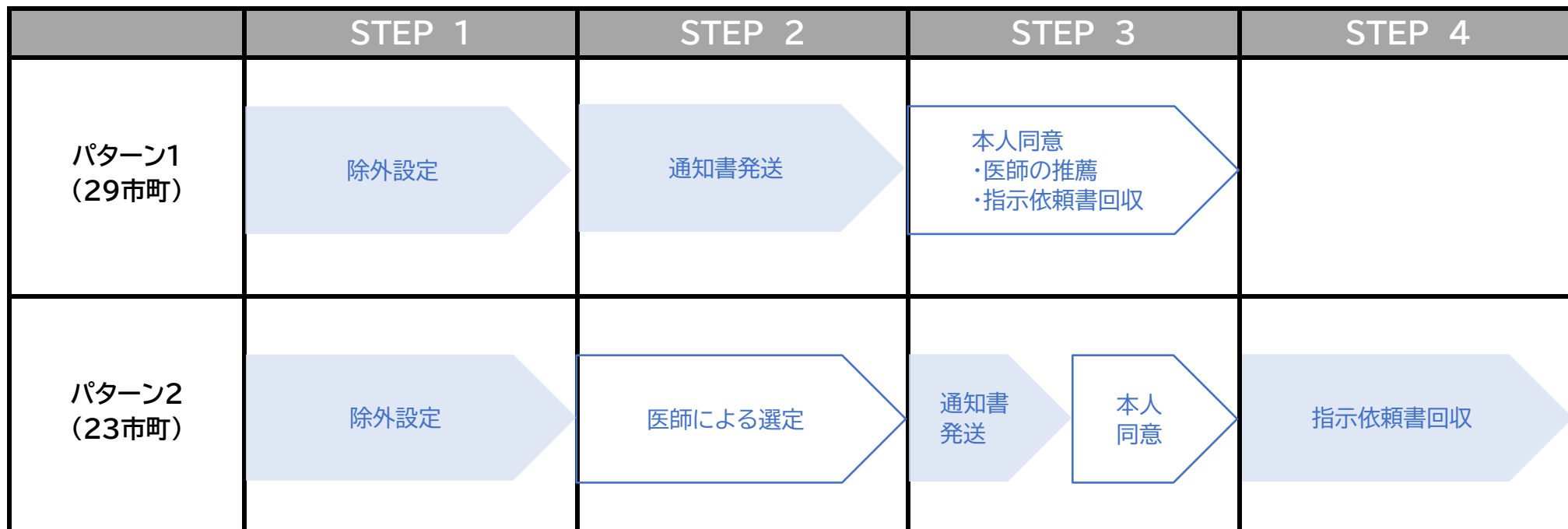
市町が除外設定後、保健指導通知書を送付し、対象者本人が医療機関へ通院等の際に、かかりつけ医から推薦を取得する方式
(保健指導通知書発送前に、協力医療機関へ説明を行う期間を確保する。)

【パターン2】

市町が除外設定後、かかりつけ医が選定（推薦）した対象者に対して保健指導通知書を送付する方式

なお、かかりつけ医による保健指導対象者の選定方法には、上記の自薦の他に他薦がある。

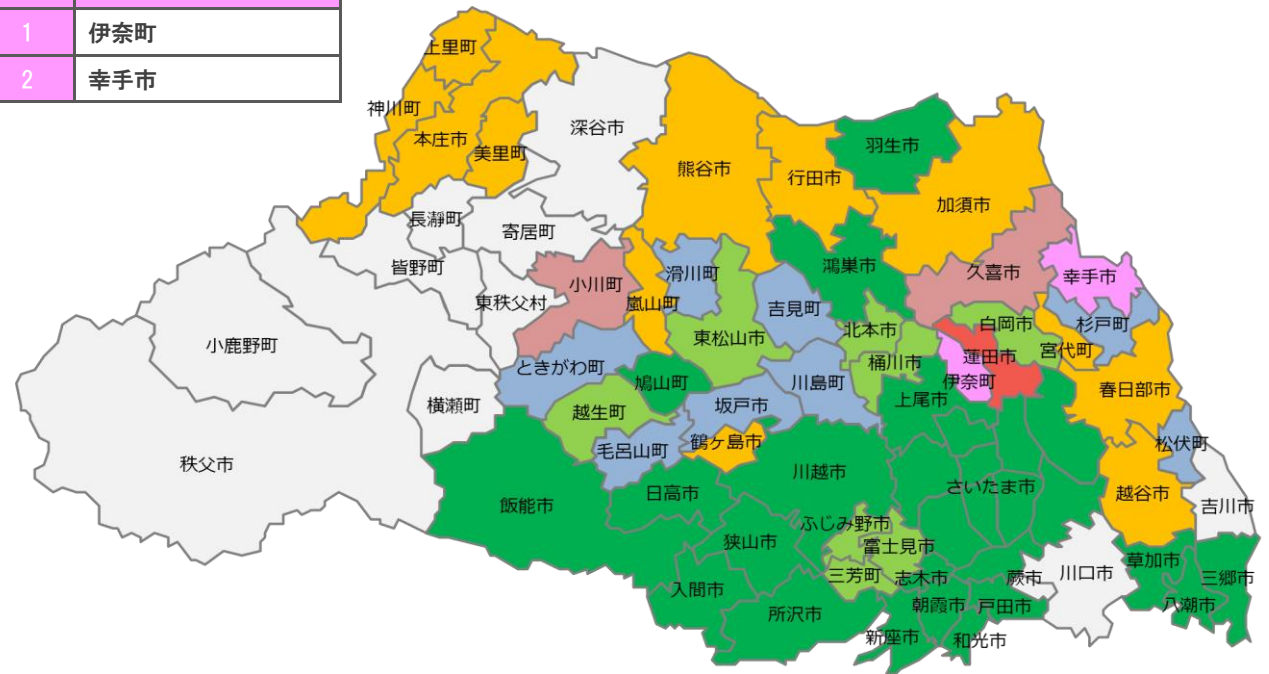
他薦とは、市町が除外した方や名簿抽出されなかった方に対して、保健指導プログラム候補者推薦の条件を満たしていれば、かかりつけ医が保健指導が有効であると判断した場合に候補者名簿に記載されている人として推薦し、かつ、本人が参加を希望する場合のことを表す。



1. 保健指導 (1) 事業概要

才 参加市町(52市町)

項番	平成26年度開始	項番	平成27年度開始	項番	平成29年度開始	項番	令和元年度開始
1	川越市	1	東松山市	1	坂戸市	1	久喜市
2	所沢市	2	桶川市	2	毛呂山町	2	小川町
3	飯能市	3	北本市	3	滑川町	項番	令和2年度開始
4	狭山市	4	富士見市	4	ときがわ町	1	蓮田市
5	羽生市	5	ふじみ野市	5	川島町		
6	鴻巣市	6	三芳町	6	吉見町		
7	上尾市	7	越生町	7	杉戸町		
8	草加市	8	白岡市	8	松伏町		
9	戸田市	項番	平成28年度開始	項番	平成30年度開始		
10	入間市	1	熊谷市	1	伊奈町		
11	朝霞市	2	行田市	2	幸手市		
12	志木市	3	加須市				
13	和光市	4	本庄市				
14	新座市	5	春日部市				
15	八潮市	6	越谷市				
16	三郷市	7	鶴ヶ島市				
17	日高市	8	嵐山町				
18	鳩山町	9	美里町				
19	さいたま市	10	神川町				
		11	上里町				
		12	宮代町				



(2) 事業実績

1. 保健指導 (2) 事業実績

	候補者数 (※1)	対象者数 (※2)	回収数 (※3)	参加者数 (※4)	参加率 (※5)	初回支援前 辞退者数	初回支援 実施者数	初回支援後 辞退者数	修了者数	修了率 (※6)	辞退率 (※7)
全体	28,043人	9,170人	1,024人	776人	8.5%	110人	666人	27人	639人	95.9%	17.7%
羽生市	286人	54人	6人	6人	11.1%	0人	6人	1人	5人	83.3%	16.7%

(※1) 保健指導候補者名簿に記載されている人数(他薦は含まない)

(※2) 通知書(「支援プログラム参加同意書」)を送付した人数
他薦分、投函戻り分含む

(※3) 参加同意書を回収した人数

(※4) 参加同意書回収分のうち指示依頼書の指示がある人数

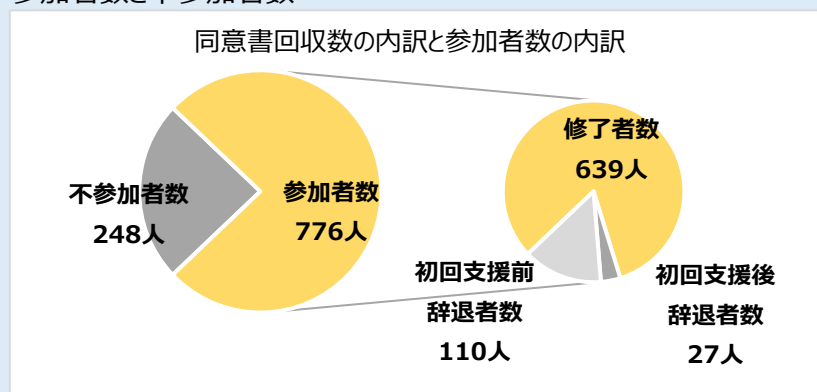
(※5) 参加者数を対象者数で除した割合

(※6) 修了者数を初回支援実施者数で除した割合

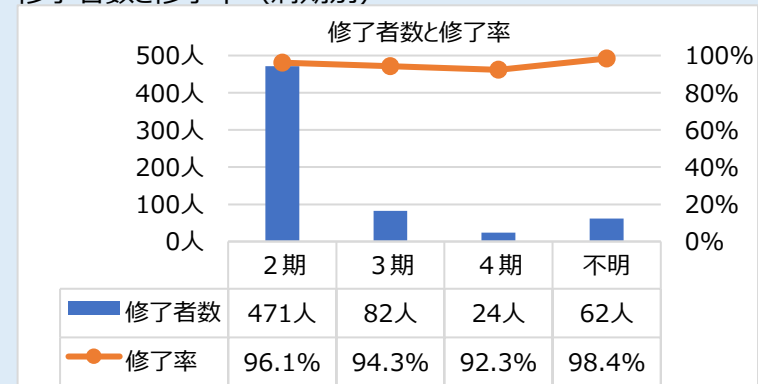
(※7) 辞退者総数を参加者数で除した割合

参加者数と不参加者数

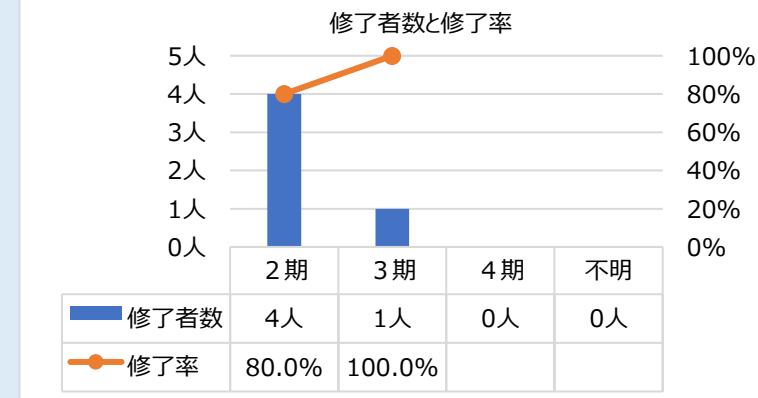
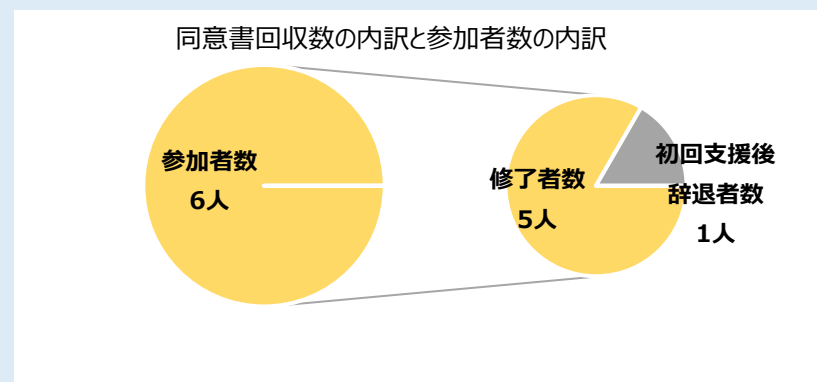
全体



修了者数と修了率 (病期別)



羽生市



1. 保健指導 (2) 事業実績

理由別辞退者数（初回支援実施前後別）

- ・全体では、初回支援前辞退・支援後辞退双方で「連絡不通のため」が1位となっている。
- ・羽生市では、初回支援後辞退で「時間がない、忙しい」が該当した。

初回支援前辞退

主な辞退理由		人数	割合
1	連絡不通のため	42人	38.2%
2	その他	15人	13.6%
3	時間がない、忙しい	12人	10.9%
4	病院等で指導を受けている	11人	10.0%
5	他の疾患があるため参加できない	10人	9.1%
-	小計	90人	81.8%
-	総計	110人	-

全体

初回支援後辞退

主な辞退理由		人数	割合
1	連絡不通のため	8人	29.6%
2	他の疾患があるため参加できない	7人	25.9%
3	その他	5人	18.5%
4	時間がない、忙しい	3人	11.1%
4	参加する意欲がわからない	3人	11.1%
-	小計	26人	96.3%
-	総計	27人	-

初回支援前辞退

辞退者なし

羽生市

初回支援後辞退

主な辞退理由		人数	割合
1	時間がない、忙しい	1人	100.0%
-		-	-
-		-	-
-		-	-
-		-	-
-	小計	1人	100.0%
-	総計	1人	-

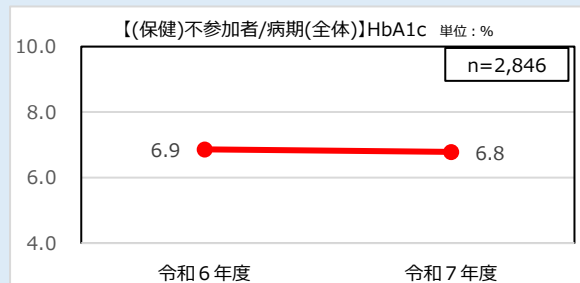
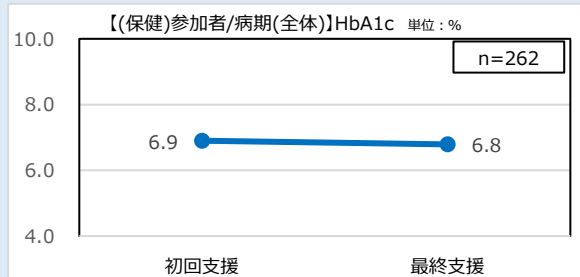
(3) 事業効果

1. 保健指導 (3) 事業効果

※参加者は各検査項目において「初回支援(1回目支援)」及び「最終支援(4回目支援)」時にヒアリングした検査数値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
 (最終支援時のものは、検査日が初回支援日から30日以上経過したものに限り)なお、支援スキャップや個別プログラムにより規定の回数よりも支援回数が少ない参加者も効果測定の対象に含む
 ※不参加者は各健診項目において、「令和6年度・令和7年度」の健診値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
 ※各検査項目、健診項目の「データ数」は、実際に取得できた件数を集計しており、項目ごとの件数は一致しない

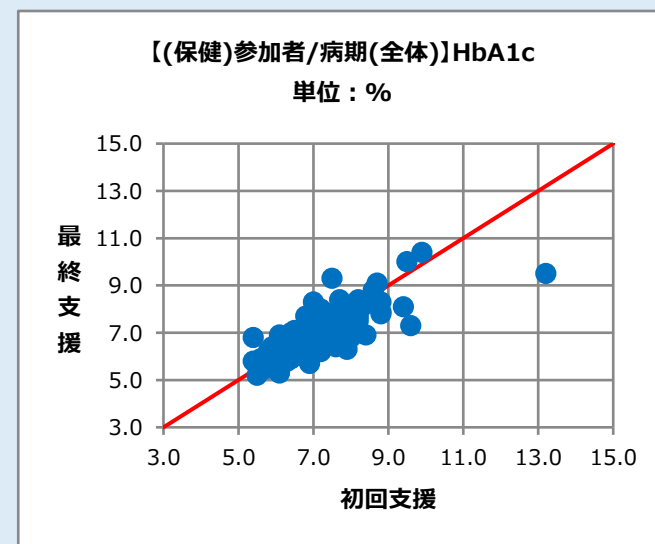
ア 検査値・健診値(HbA1c)の分析

全体

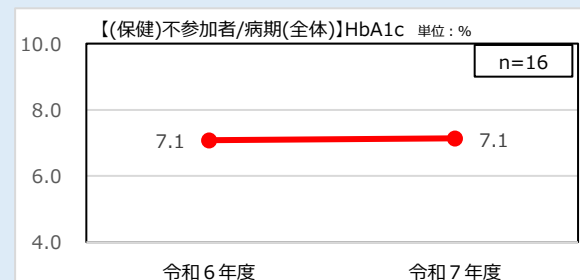
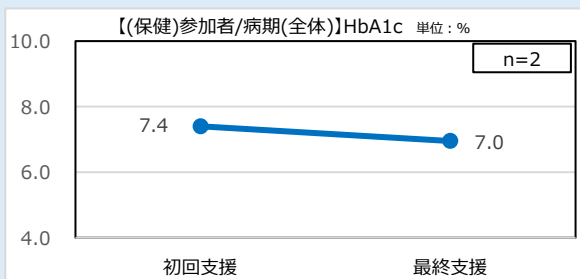


保健指導	参加者 (検査値)		不参加者 (健診値)	
	人数	割合	人数	割合
低下	134人	51.1%	1,291人	45.4%
維持	30人	11.5%	306人	10.8%
上昇	98人	37.4%	1,249人	43.9%
合計	262人	100.0%	2,846人	100.0%

保健指導参加者		最終支援		
		7.0%未満	7.0%以上	合計
初回支援	7.0%未満	142人	15人	157人
	7.0%以上	26人	79人	105人
	合計	168人	94人	262人

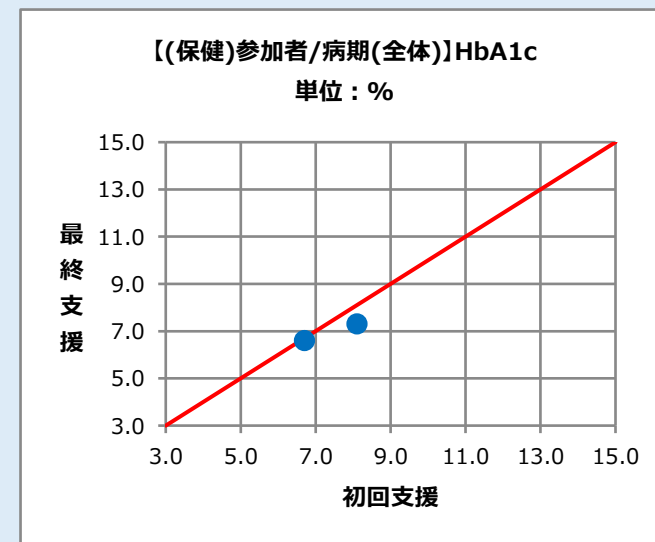


羽生市



保健指導	参加者 (検査値)		不参加者 (健診値)	
	人数	割合	人数	割合
低下	2人	100.0%	6人	37.5%
維持	0人	0.0%	1人	6.3%
上昇	0人	0.0%	9人	56.3%
合計	2人	100.0%	16人	100.0%

保健指導参加者		最終支援		
		7.0%未満	7.0%以上	合計
初回支援	7.0%未満	1人	0人	1人
	7.0%以上	0人	1人	1人
	合計	1人	1人	2人



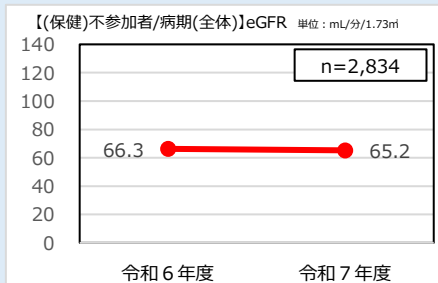
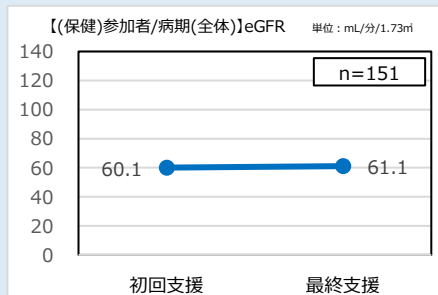
1. 保健指導 (3) 事業効果

※参加者は各検査項目において「初回支援(1回目支援)」及び「最終支援(4回目支援)」時にヒアリングした検査数値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
 (最終支援時のものは、検査日が初回支援日から30日以上経過したものに限り)なお、支援スキャップや個別プログラムにより規定の回数よりも支援回数が少ない参加者も効果測定の対象に含む
 ※不参加者は各健診項目において、「令和6年度・令和7年度」の健診値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
 ※各検査項目、健診項目の「データ数」は、実際に取得できた件数を集計しており、項目ごとの件数は一致しない

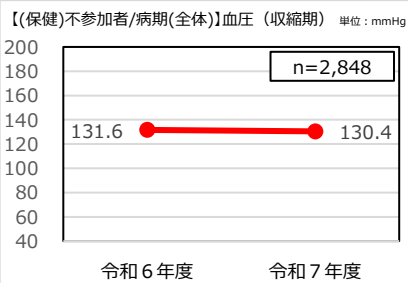
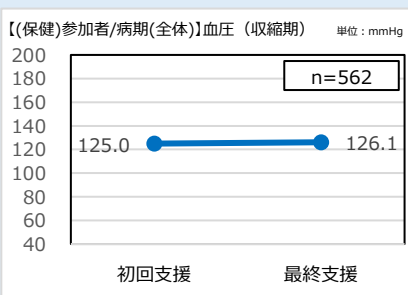
イ 検査値・健診値の平均値比較

全体

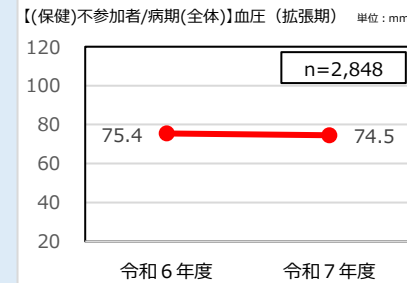
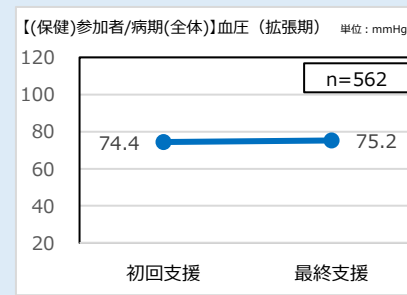
eGFR



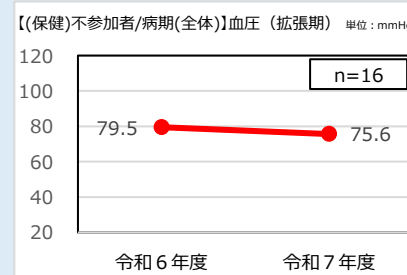
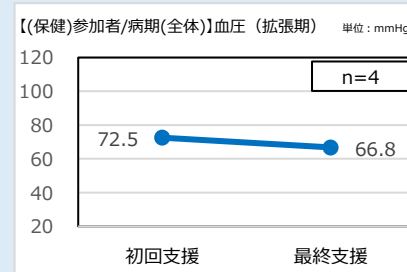
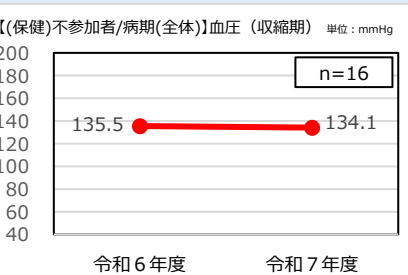
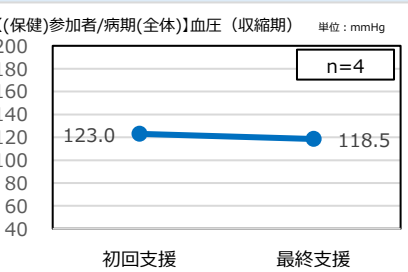
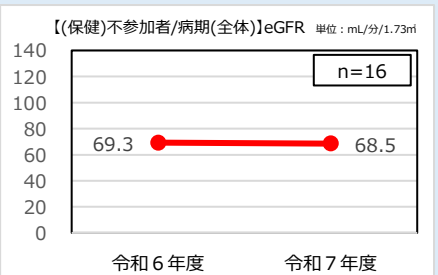
血圧 (収縮期)



血圧 (拡張期)



羽生市



1. 保健指導 (3) 事業効果

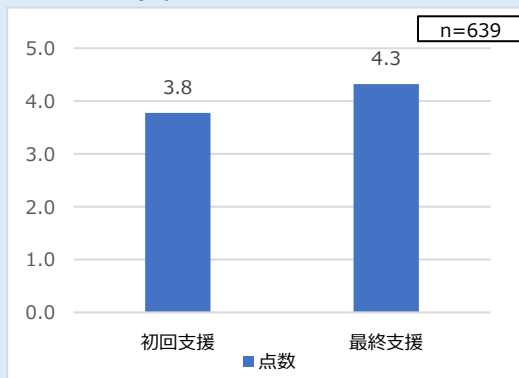
ウ 保健指導修了者の行動変容の状況・達成度の分析(1)

<行動変容ステージの変化>

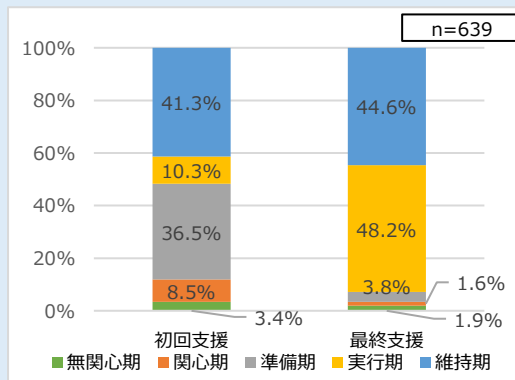
初回支援及び最終支援において、生活習慣全般に対する行動変容ステージを指導員が評価し、比較した。

全体

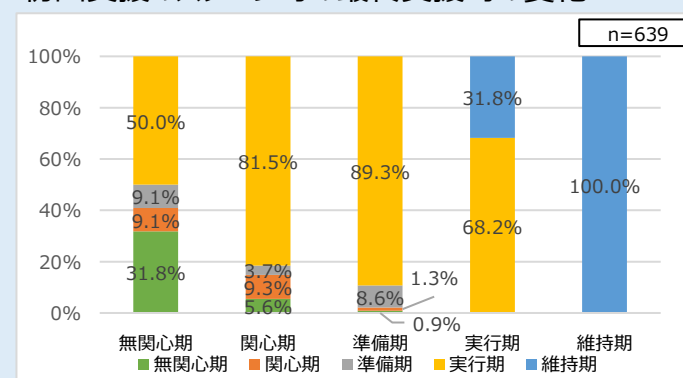
平均値の変化



各ステージの割合

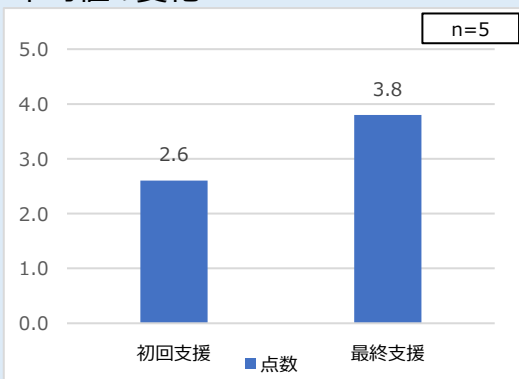


初回支援のステージ毎の最終支援時の変化

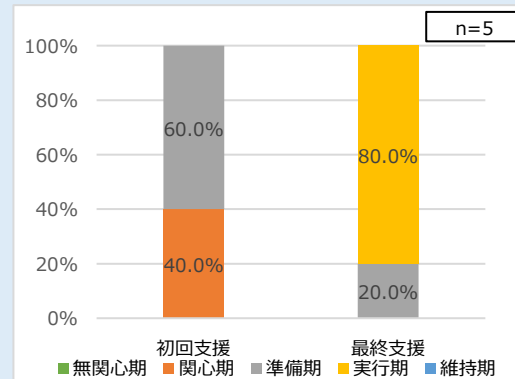


羽生市

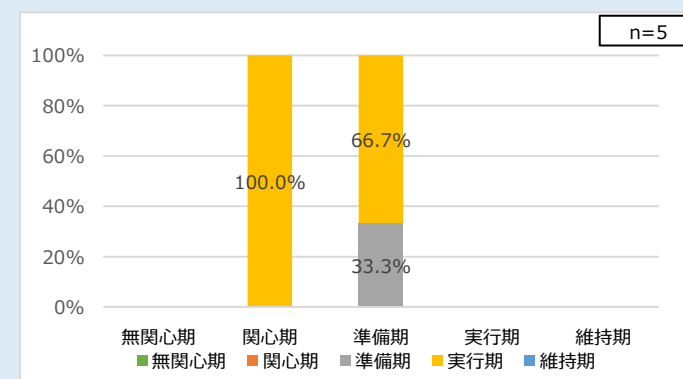
平均値の変化



各ステージの割合



初回支援のステージ毎の最終支援時の変化



※行動変容ステージ点数換算表

行動変容ステージ	無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期
点数	1	2	3	4	5
基準	6ヶ月以内に行動を変えようと思っていない	6ヶ月以内に行動を変えようと思っている	1ヶ月以内に行動を変えようと思っている	行動を変えて6ヶ月未満である	行動を変えて6ヶ月以上である

1. 保健指導 (3) 事業効果

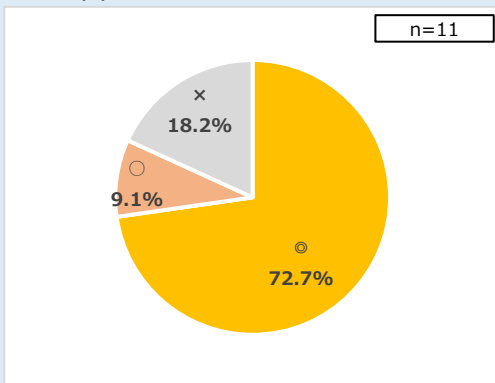
ウ 保健指導修了者の行動変容の状況・達成度の分析(2)

<行動計画の達成度>

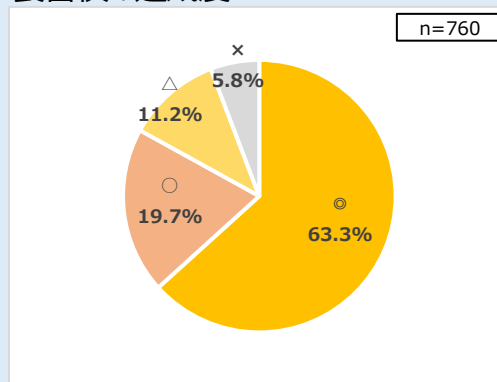
行動計画は1人につき最大3個立てており、最終支援において、指導員が評価（◎○△×）したものを行動計画の内容ごとに集計した。

全体

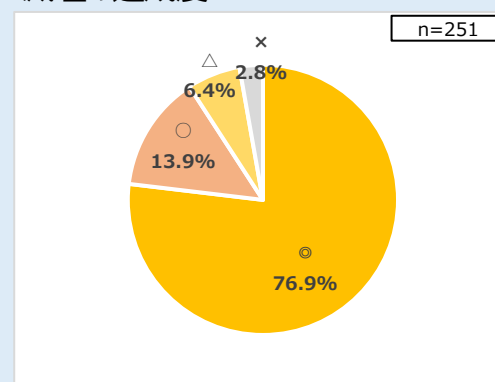
服薬管理の達成度



食習慣の達成度

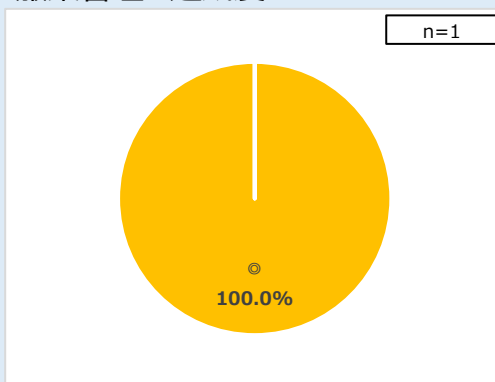


減塩の達成度

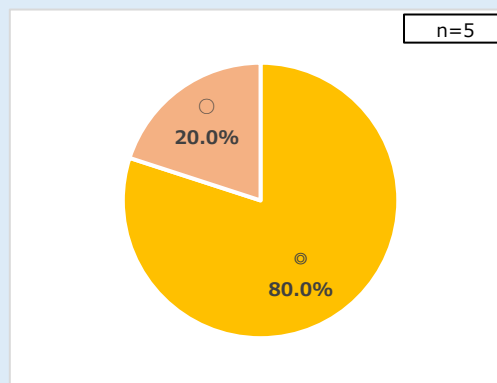


羽生市

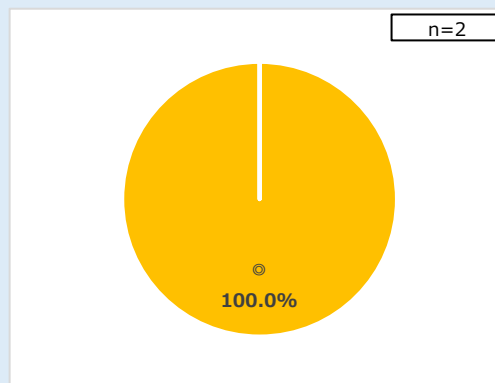
服薬管理の達成度



食習慣の達成度



減塩の達成度



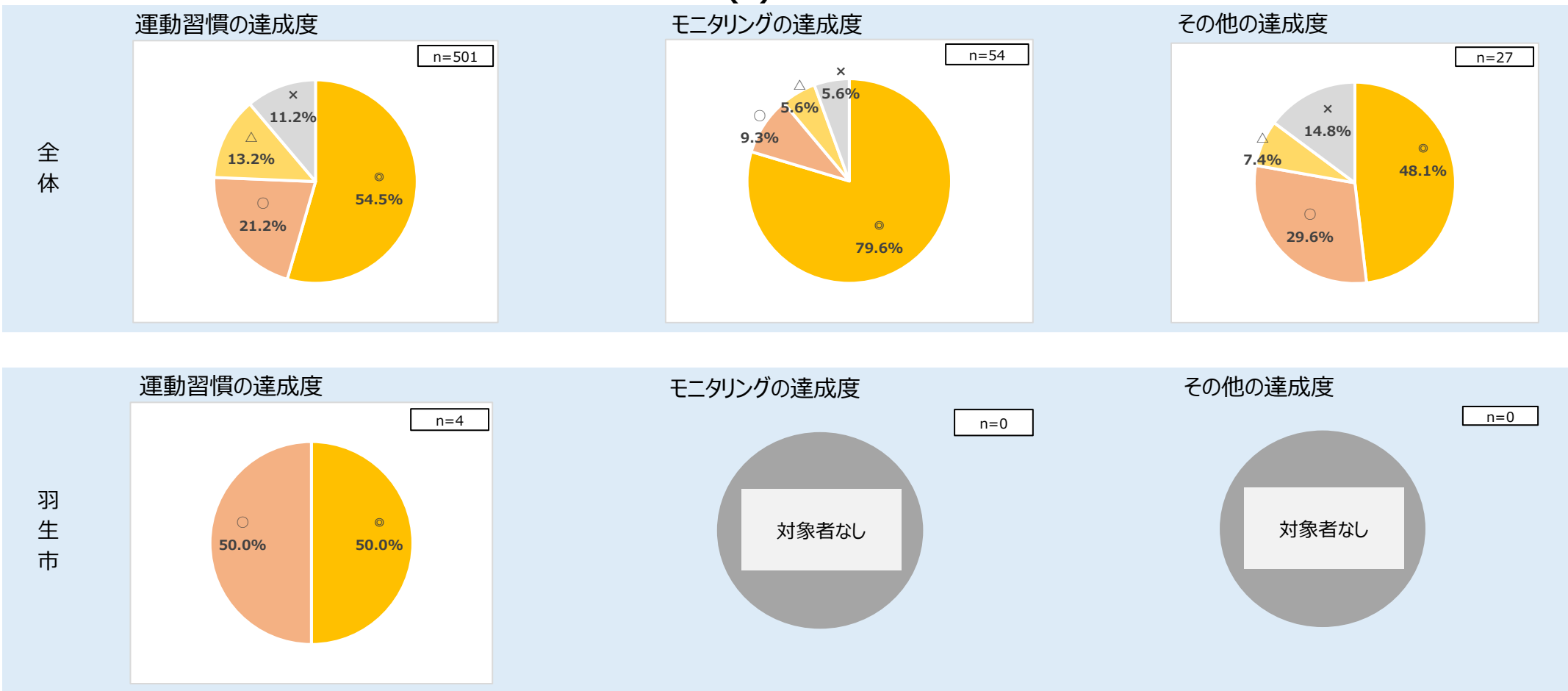
※初回支援時に設定した目標に対する頻度や量の達成度合いを最終支援時に確認

※達成度合いは◎：8割以上できている ○：5～7割程度できている △：3～4割程度できている ×：2割以下しかできていない の4段階評価とした

※それぞれの行動計画で定めた目標に対して、修了者全体の達成度分布をグラフ化(ただし、同一カテゴリーで複数目標を立案している場合、修了者数を上回ることがある)

1. 保健指導 (3) 事業効果

ウ 保健指導修了者の行動変容の状況・達成度の分析(2)



※初回支援時に設定した目標に対する頻度や量の達成度合いを最終支援時に確認
 ※達成度合いは◎：8割以上できている ○：5～7割程度できている △：3～4割程度できている ×：2割以下しかできていない の4段階評価とした
 ※それぞれの行動計画で定めた目標に対して、修了者全体の達成度分布をグラフ化(ただし、同一カテゴリで複数目標を立案している場合、修了者数を上回ることがある)

1. 保健指導 (3) 事業効果

エ 対象者アンケート

	修了者数	回収数 (※1)	回収率 (※2)
全体	639人	518人	81.1%
羽生市	5人	5人	100.0%

(※1) 1月22日回収分まで。回収数はいずれかの問(問1~5)に回答があるものを集計

(※2) 修了者数を母数とした割合

対象者アンケート内容

問1: 指示どおりの服薬やインスリン注射ができる。

問2: 指示どおりの通院をすることができる。

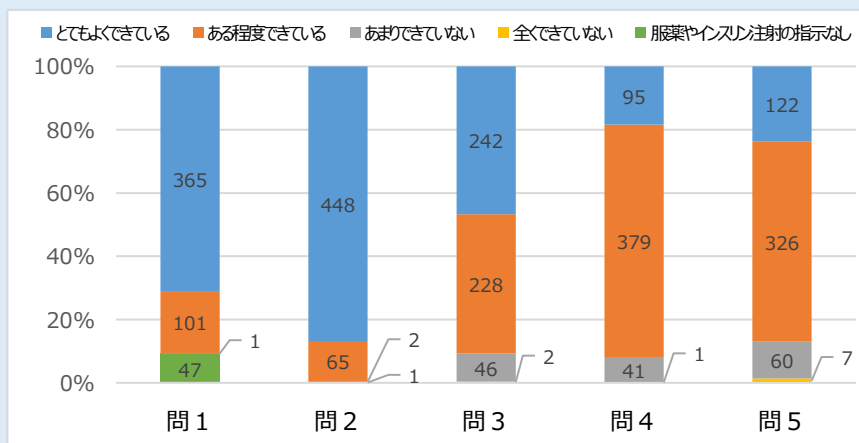
問3: 体重や血圧の測定を習慣化することができる。

問4: 指導があった食事(の方法)を継続することができる。

問5: 指導があった運動(の方法)を継続することができる。

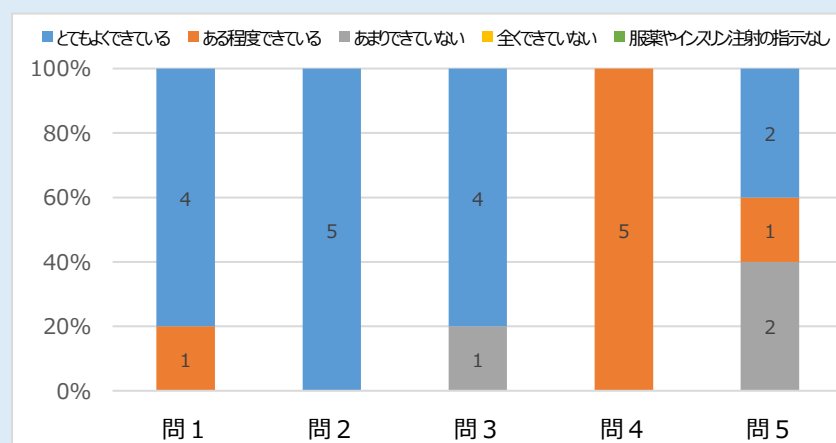
対象者アンケート結果 (未回答除く)

全体



n数	514	516	518	516	515
----	-----	-----	-----	-----	-----

羽生市



n数	5	5	5	5	5
----	---	---	---	---	---

この事業に参加して良かった点、苦労した点、ご要望などは以下の通り。(当該市町含め一部抜粋)

- ・血圧を毎日測ることができるようになった。こまかく説明してくださったので良くわかった。
- ・「まいにち健康日記」に記入することで、継続できるようになりました。習慣化の大切さを知りました。
- ・バランス良く食事を摂るようになった。採血結果を積極的に見るようになった。運動が足りていないことを気付かせてもらった。これから運動をしっかりとやっていこうと思う。
- ・最初はプログラムの内容がわからなかったのが緊張しましたが、とても丁寧な対応をしていただきました。私にとって有益な情報もあり、役に立ったプログラムでした。

2. 継続支援

(1) 事業概要

2. 継続支援 (1) 事業概要

ア 目的

予防プログラムに基づく「保健指導プログラム」を修了した者に対して、継続した体調の確認と自己管理を支援することにより、QOLの維持向上を図り、人工透析移行など重症化を防止することを目的とする。

イ 実施内容

- ①保健指導により改善した生活習慣を継続的に維持できることを目的に、令和4年度から令和6年度までの保健指導修了者に、継続支援通知書を6月16日に発送した。
- ②参加申込があった対象者に対して、継続支援を実施した。事業者の指導員による支援（指導会社モデル）もしくは薬局による支援（薬局モデル）の2種類のモデルがあり、参加者による選択制とした。
※ 薬局モデルを選択できるのは当該モデルを採用した市町の参加者のみ
- ③継続支援修了者から聞き取った検査値（初回支援と最終支援）の変化から健康状態の確認を行った。
また、継続支援修了者から取得したアンケートから、自己管理の実施状況の確認を行った。不参加者については、令和6年度と令和7年度の特健診の結果が両方あるものについてその変化の確認を行った。

【継続支援の抽出基準】

- ◆ 令和4年度から令和6年度までの保健指導修了者
- ◆ 上記のうち、年齢基準日(令和8年3月31日)時点の年齢が75歳以上の対象者を除外

<指導会社モデル>

病期2期
(電話2回)

電話

病期3・4期
(面談1回+電話1回)

面談

電話

<薬局モデル>

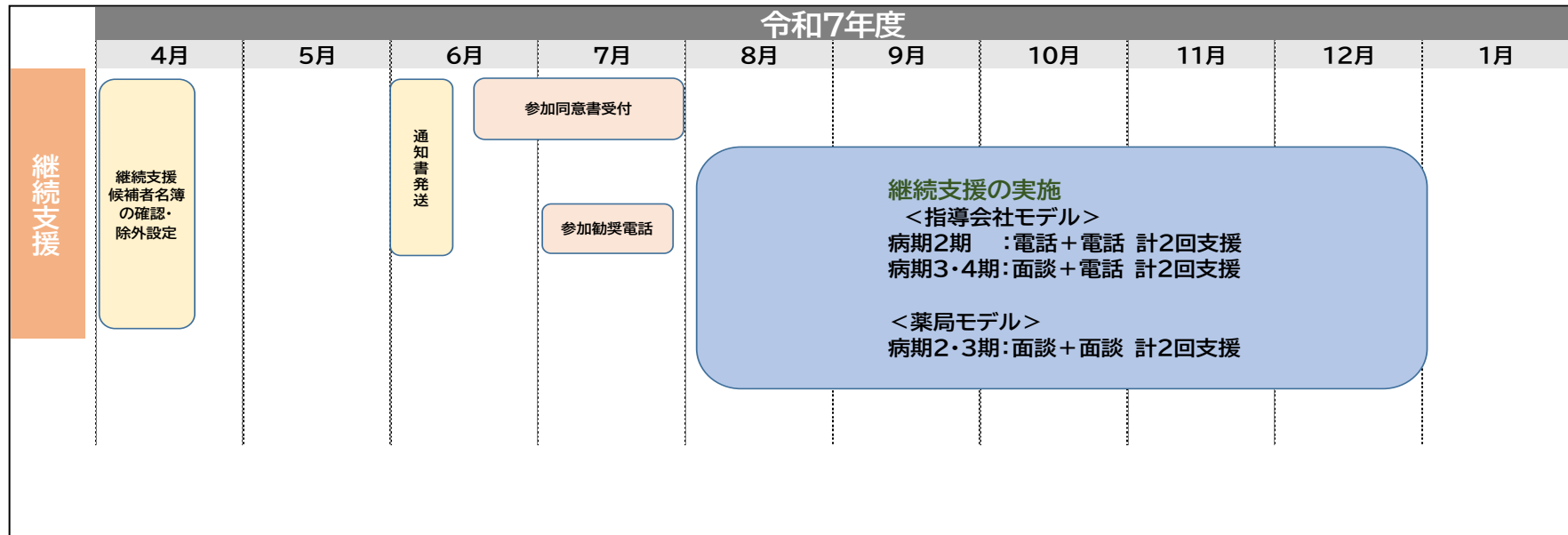
病期2・3期
(面談2回)

面談

面談

2. 継続支援 (1) 事業概要

ウ 実施時期



エ 参加市町

保健指導と同じく52市町が参加した。

(2) 事業実績

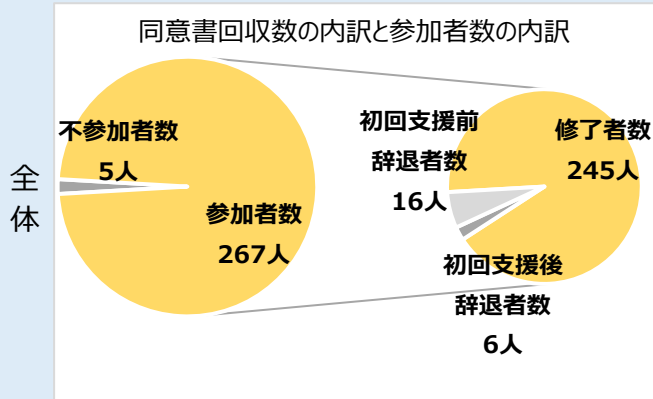
2. 継続支援 (2) 事業実績

	候補者数 (※1)	対象者数 (※2)	回収数 (※3)	参加者数 (※4)	参加率 (※5)	初回支援前 辞退者数	初回支援 実施者数	初回支援後 辞退者数	修了者数	修了率 (※6)	辞退率 (※7)
全体	1,137人	1,087人	272人	267人	24.6%	16人	251人	6人	245人	97.6%	8.2%
羽生市	10人	10人	2人	2人	20.0%	0人	2人	0人	2人	100.0%	0.0%

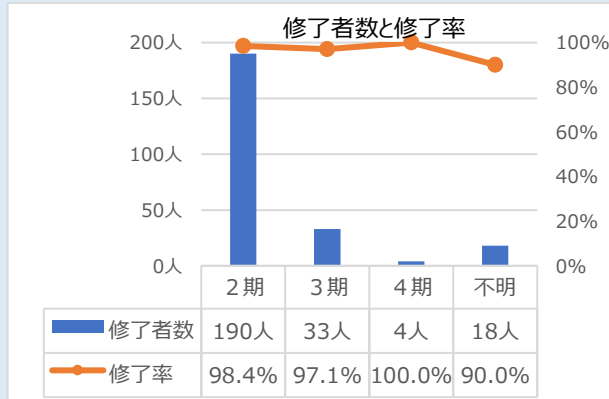
(※1) 継続支援候補者名簿に記載されている人数
 (※2) 通知書(「支援プログラム参加同意書」)を送付した人数
 投函戻り分含む
 (※3) 参加同意書を回収した人数

(※4) 参加同意書回収分のうち、参加の「希望あり」と回答があった人数
 (※5) 参加者数を対象者数で除した割合
 (※6) 修了者数を初回支援実施者数で除した割合
 (※7) 辞退者総数を参加者数で除した割合

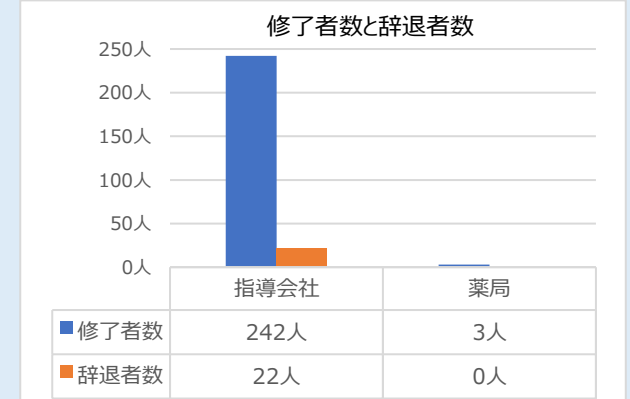
参加者数と不参加者数



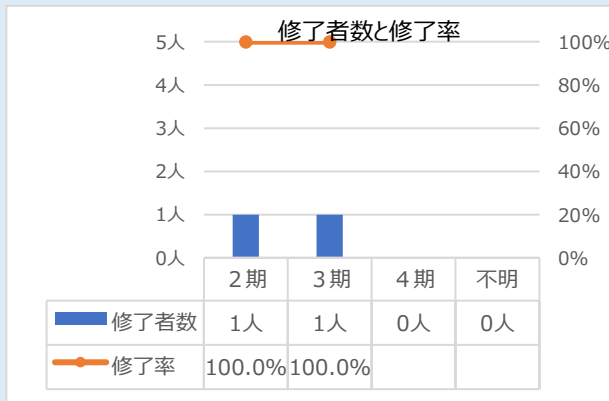
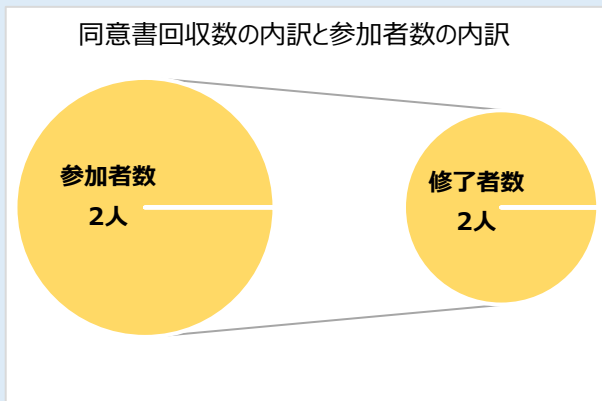
修了者数と修了率 (病期別)



修了者数と辞退者数 (モデル別)



羽生市



2. 継続支援 (2) 事業実績

理由別辞退者数（初回支援実施前後別）

・全体では、初回支援前辞退・支援後辞退双方で、「連絡不通のため」「時間がない、忙しい」が上位となっている。

初回支援前辞退		人数	割合	
全体	主な辞退理由			
	1	連絡不通のため	5人	31.3%
	2	時間がない、忙しい	3人	18.8%
	2	参加する意欲がわからない	3人	18.8%
	4	自己管理している	2人	12.5%
	5	医師から問題ないと言われた	1人	6.3%
	-	小計	14人	87.5%
	-	総計	16人	-

初回支援後辞退		人数	割合	
全体	主な辞退理由			
	1	時間がない、忙しい	2人	33.3%
	1	連絡不通のため	2人	33.3%
	3	病院等で指導を受けている	1人	16.7%
	3	その他	1人	16.7%
	-		-	-
	-	小計	6人	100.0%
	-	総計	6人	-

初回支援前辞退	
羽生市	辞退者なし

初回支援後辞退	
羽生市	辞退者なし

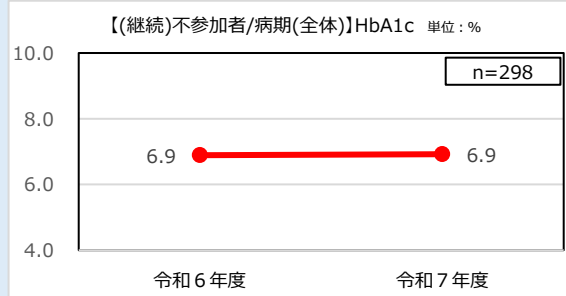
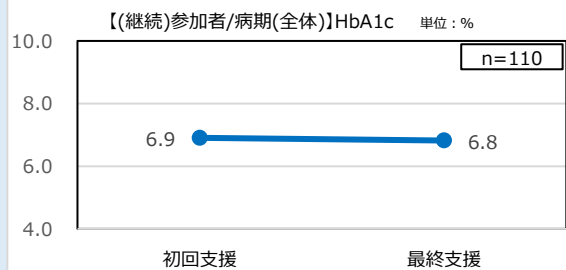
(3) 事業効果

2. 継続支援 (3) 事業効果

※参加者は各検査項目において「初回支援(1回目支援)」及び「最終支援(2回目支援)」時にヒアリングした検査数値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
 (最終支援時のものは、検査日が初回支援日から30日以上経過したものに限り)
 ※不参加者は各健診項目において、「令和6年度・令和7年度」の健診値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
 ※各検査項目、健診項目の「データ数」は、実際に取得できた件数を集計しており、項目ごとの件数は一致しない

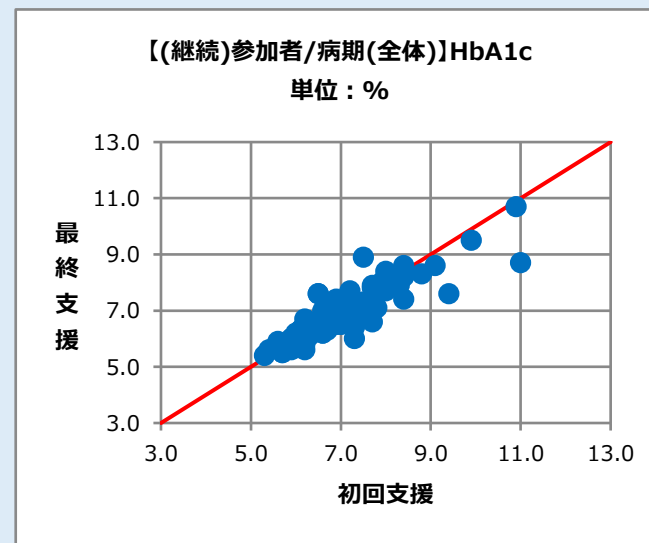
ア 検査値・健診値(HbA1c)の分析

全体

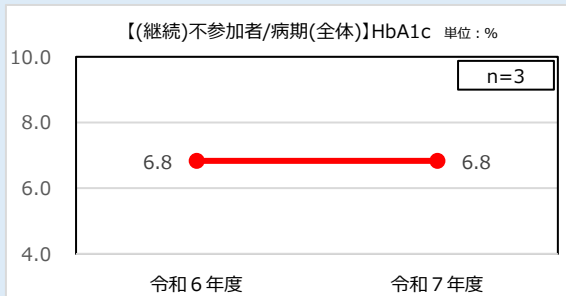
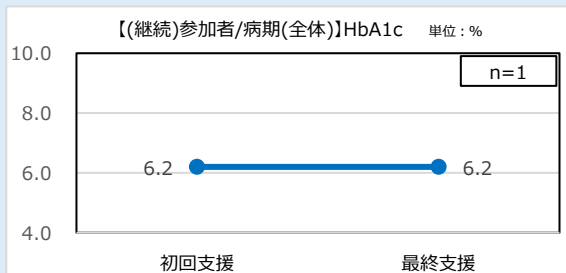


継続支援	参加者 (検査値)		不参加者 (健診値)	
	人数	割合	人数	割合
低下	55人	50.0%	122人	40.9%
維持	16人	14.5%	29人	9.7%
上昇	39人	35.5%	147人	49.3%
合計	110人	100.0%	298人	100.0%

継続支援参加者		最終支援		
		7.0%未満	7.0%以上	合計
初回支援	7.0%未満	61人	9人	70人
	7.0%以上	5人	35人	40人
	合計	66人	44人	110人

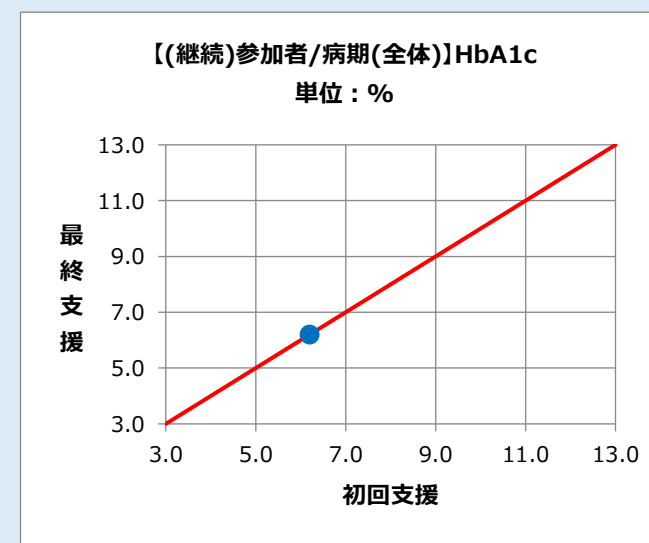


羽生市



継続支援	参加者 (検査値)		不参加者 (健診値)	
	人数	割合	人数	割合
低下	0人	0.0%	2人	66.7%
維持	1人	100.0%	0人	0.0%
上昇	0人	0.0%	1人	33.3%
合計	1人	100.0%	3人	100.0%

継続支援参加者		最終支援		
		7.0%未満	7.0%以上	合計
初回支援	7.0%未満	1人	0人	1人
	7.0%以上	0人	0人	0人
	合計	1人	0人	1人



2. 継続支援 (3) 事業効果

※参加者は各検査項目において「初回支援(1回目支援)」及び「最終支援(2回目支援)」時にヒアリングした検査数値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする
(最終支援時のものは、検査日が初回支援日から30日以上経過したものに限り)

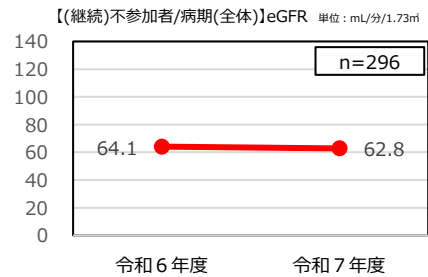
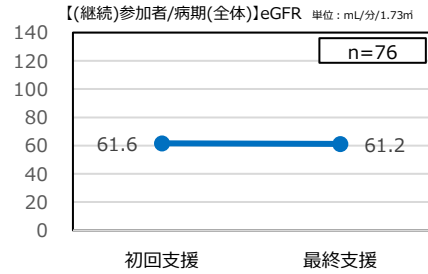
※不参加者は各健診項目において、「令和6年度・令和7年度」の健診値が両方存在する方のみ効果測定の対象とする

※各検査項目、健診項目の「データ数」は、実際に取得できた件数を集計しており、項目ごとの件数は一致しない

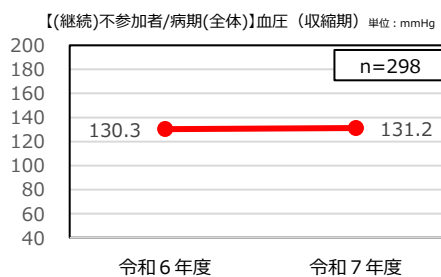
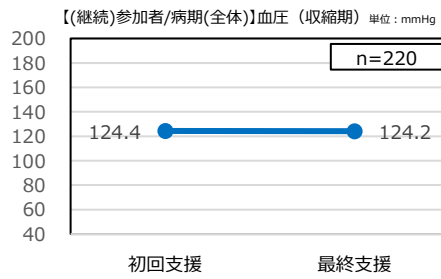
イ 検査値・健診値の平均値比較

全
体

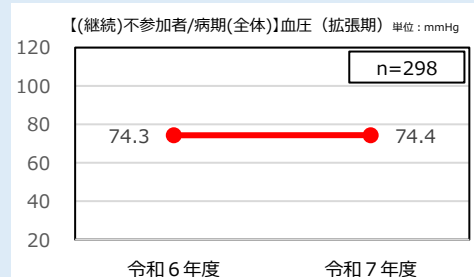
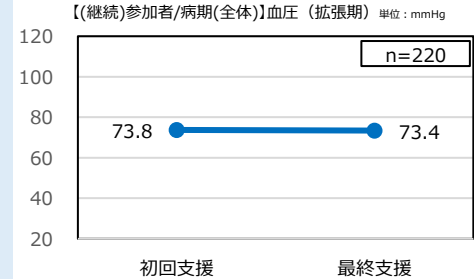
eGFR



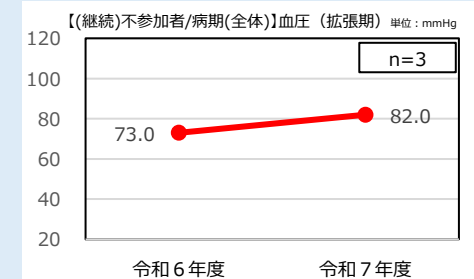
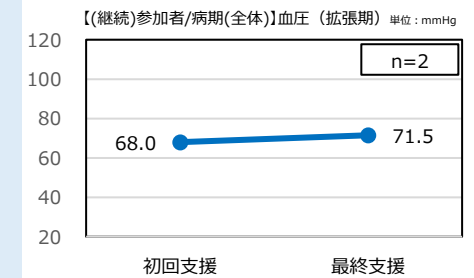
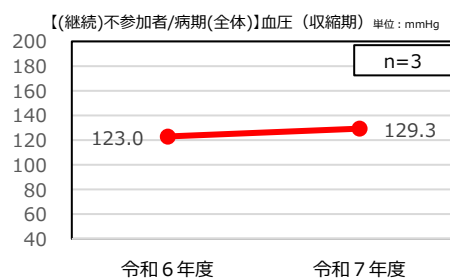
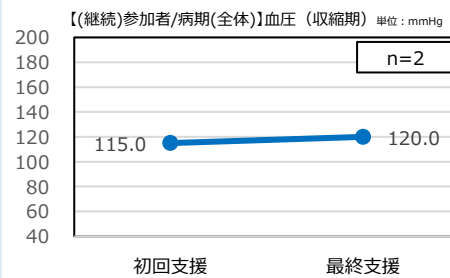
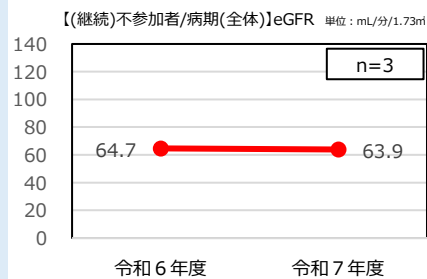
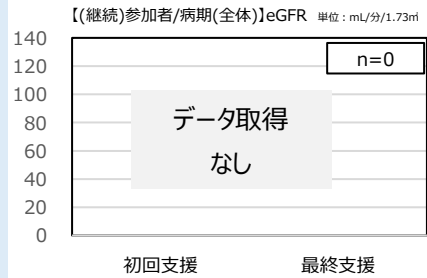
血圧 (収縮期)



血圧 (拡張期)



羽
生
市



2. 継続支援 (3) 事業効果

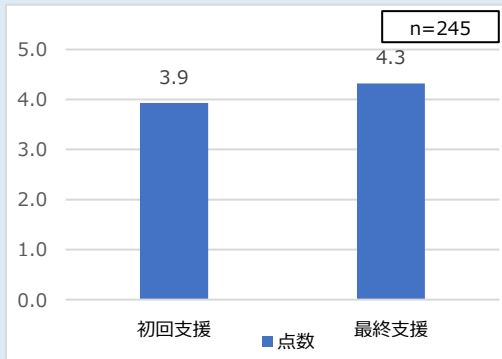
ウ 継続支援修了者の行動変容の状況・達成度の分析(1)

＜行動変容ステージの変化＞

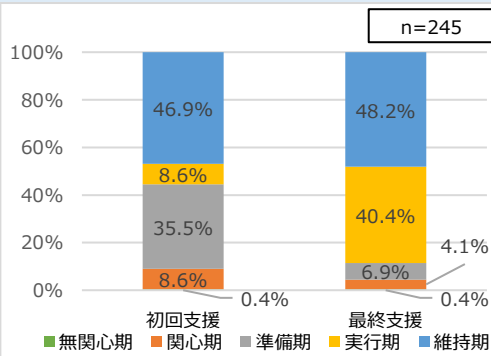
初回支援及び最終支援において、生活習慣全般に対する行動変容ステージを指導員が評価し、比較した。

全体

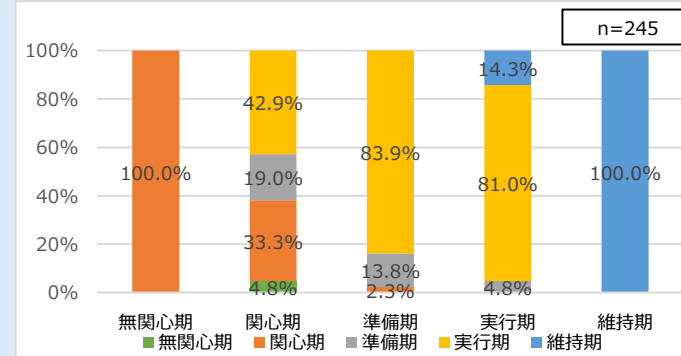
平均値の変化



各ステージの割合

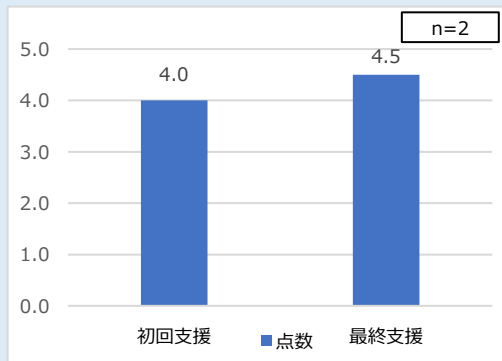


初回支援のステージ毎の最終支援時の変化

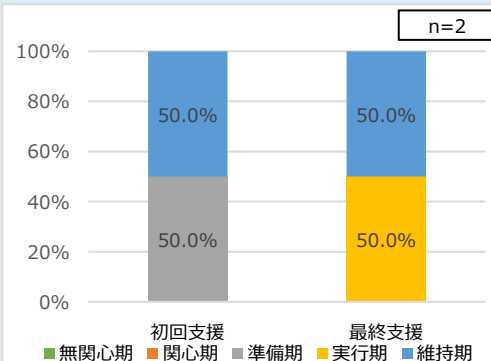


羽生市

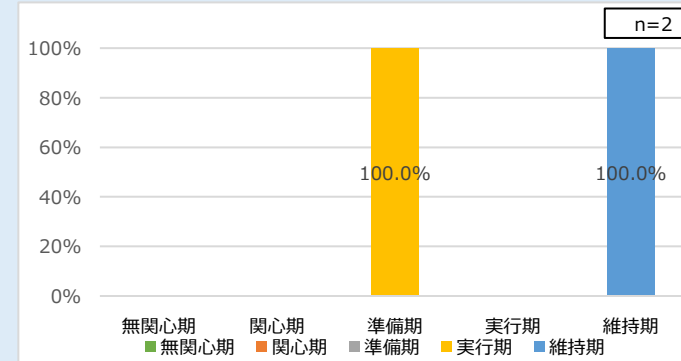
平均値の変化



各ステージの割合



初回支援のステージ毎の最終支援時の変化



※行動変容ステージ点数換算表

行動変容ステージ	無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期
点数	1	2	3	4	5
基準	6ヶ月以内に行動を変えようと思っていない	6ヶ月以内に行動を変えようと思っている	1ヶ月以内に行動を変えようと思っている	行動を変えて6ヶ月未満である	行動を変えて6ヶ月以上である

2. 継続支援 (3) 事業効果

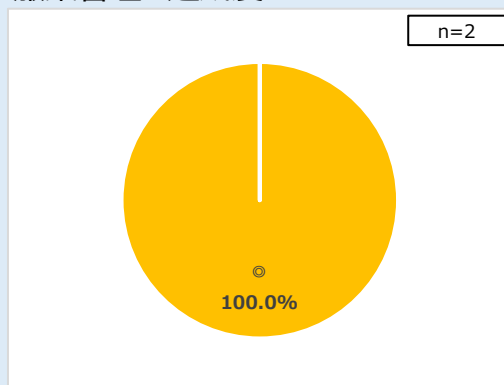
ウ 継続支援修了者の行動変容の状況・達成度の分析(2)

<行動計画の達成度>

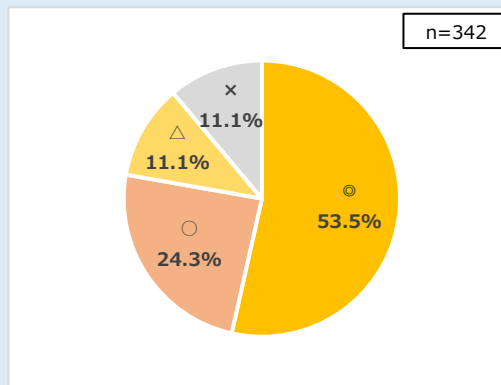
行動計画は1人につき最大3個立てており、最終支援において、指導員が評価（◎○△×）したものを行動計画の内容ごとに集計した。

全体

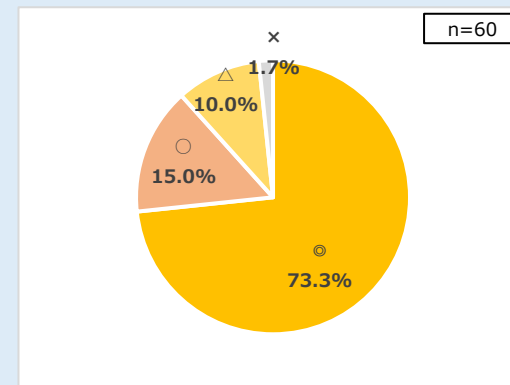
服薬管理の達成度



食習慣の達成度

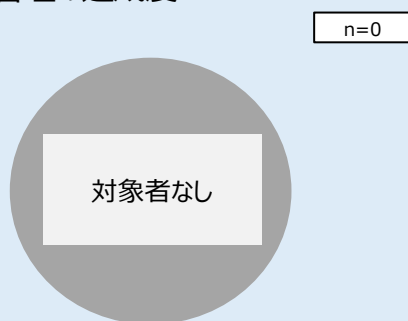


減塩の達成度

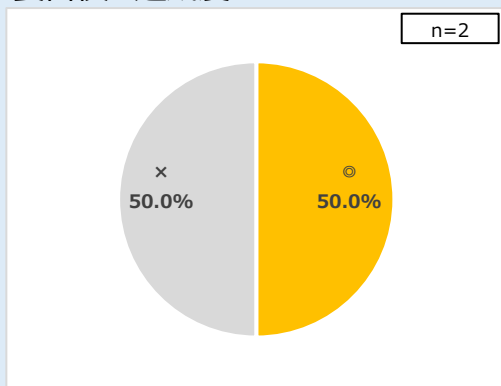


羽生市

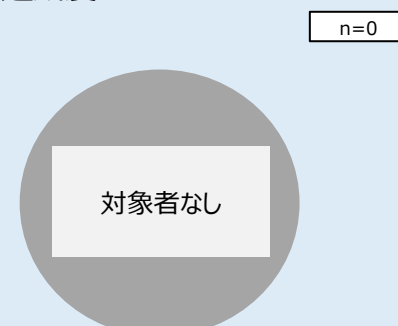
服薬管理の達成度



食習慣の達成度



減塩の達成度



※初回支援時に設定した目標に対する頻度や量の達成度合いを最終支援時に確認

※達成度合いは◎：8割以上できている ○：5～7割程度できている △：3～4割程度できている ×：2割以下しかできていない の4段階評価とした

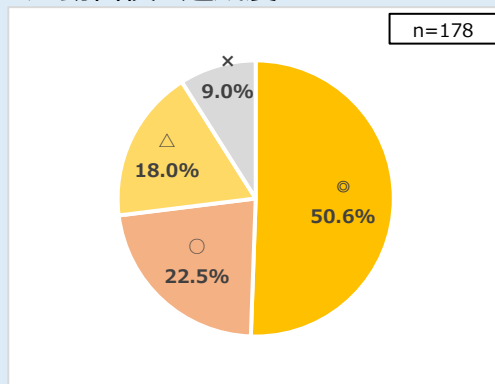
※それぞれの行動計画で定めた目標に対して、修了者全体の達成度分布をグラフ化(ただし、同一カテゴリで複数目標を立案している場合、修了者数を上回ることがある)

2. 継続支援 (3) 事業効果

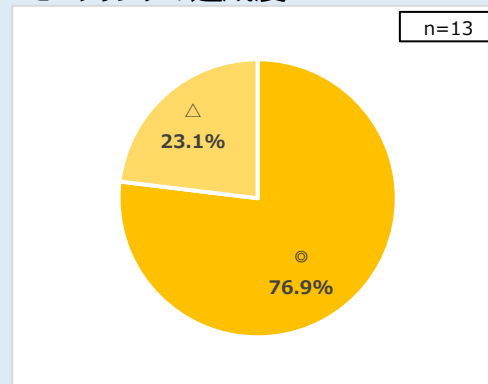
ウ 継続支援修了者の行動変容の状況・達成度の分析(2)

全体

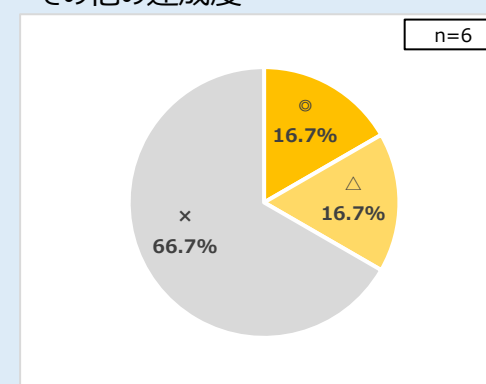
運動習慣の達成度



モニタリングの達成度

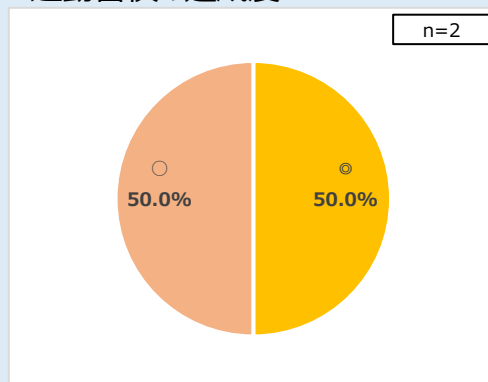


その他の達成度

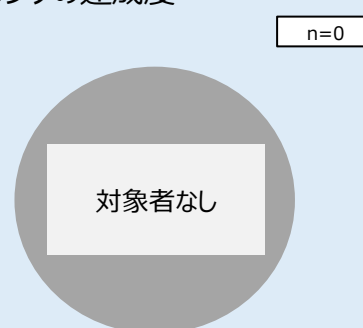


羽生市

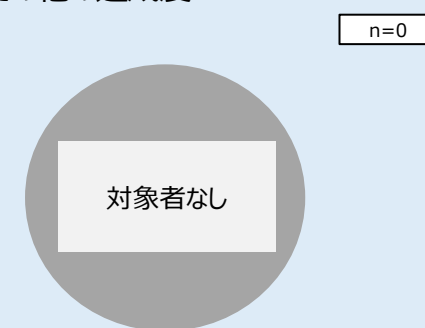
運動習慣の達成度



モニタリングの達成度



その他の達成度



※初回支援時に設定した目標に対する頻度や量の達成度合いを最終支援時に確認

※達成度合いは◎：8割以上できている ○：5～7割程度できている △：3～4割程度できている ×：2割以下しかできていない の4段階評価とした

※それぞれの行動計画で定めた目標に対して、修了者全体の達成度分布をグラフ化(ただし、同一カテゴリで複数目標を立案している場合、修了者数を上回ることがある)

2. 継続支援 (3) 事業効果

エ 対象者アンケート

	修了者数	回収数 (※1)	回収率 (※2)
全体	245人	204人	83.3%
羽生市	2人	2人	100.0%

(※1) 1月20日回収分まで。回収数はいずれかの問(問1～6)に回答があるものを集計

(※2) 修了者数を母数とした割合

対象者アンケート内容

問1:継続支援への参加は、今年度が初めてですか？

問2:指示どおりの服薬やインスリン注射ができる。

問3:指示どおりの通院をすることができる。

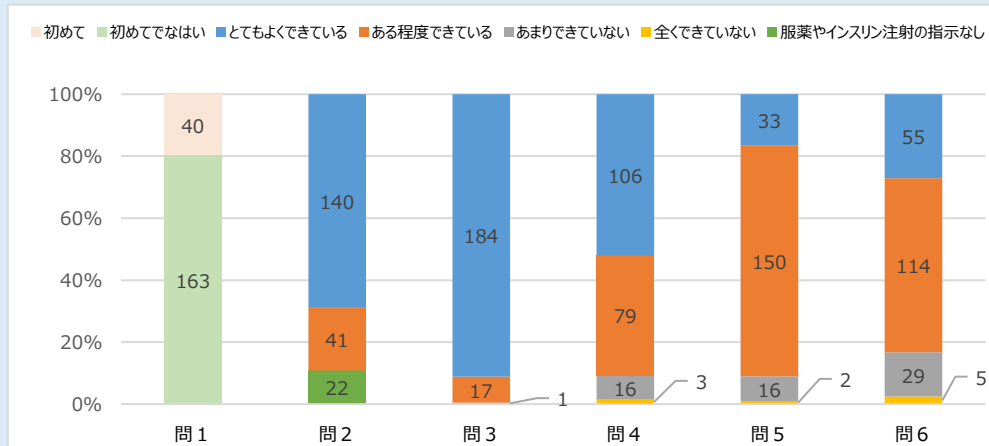
問4:体重や血圧の測定を習慣化することができる。

問5:指導があった食事(の方法)を継続することができる。

問6:指導があった運動(の方法)を継続することができる。

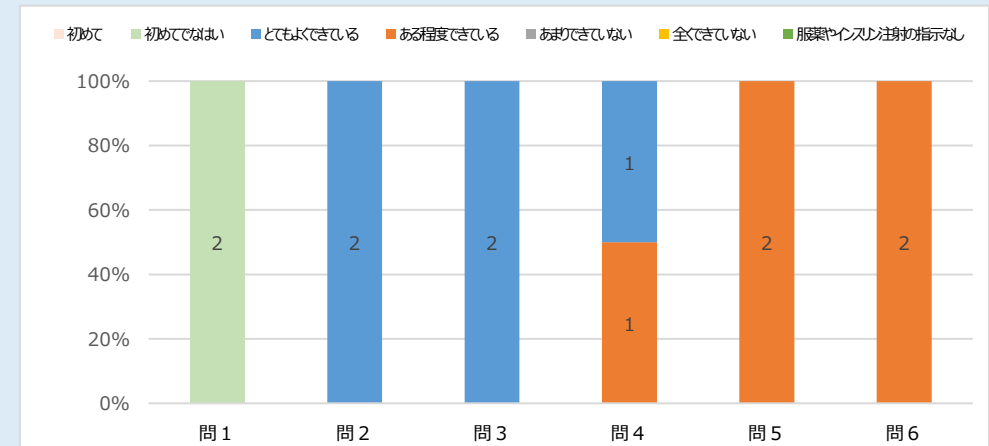
対象者アンケート結果 (未回答除く)

全体



n数	203	203	202	204	201	203
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

羽生市



n数	2	2	2	2	2	2
----	---	---	---	---	---	---

この事業に参加して良かった点、苦労した点、ご要望などは以下の通り。(当該市町含め一部抜粋)

- ・心配ごとにも親切に対応していただきました。ありがとうございました。
- ・食事管理方法についての指導により、かなり改善ができて良かったです。細かいご指導がありとても助かりました。甘いものを前にしてもブレーキをかけられるようになりました。
- ・食事や運動などは普段気をつけていても自己流になってしまいます。時々今回のような機会を与えていただくと改めて見直すことができ良いと思いました。
- ・以前は対面での支援で内容が頭に入りましたが、今回は電話の支援でつい忘れてしまいました。私としては対面での支援でお願いしたかったですが、プログラムに参加できて良かったです。

3. かかりつけ医アンケート

3. かかりつけ医アンケート

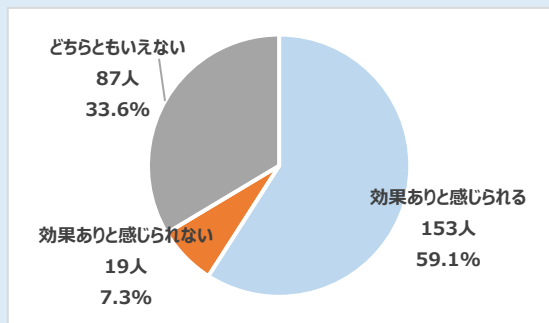
指示依頼書を記入したかかりつけ医を対象にアンケート調査を実施。12月末を返送期限とし、11月下旬に発送した。発送したうち32.4%のかかりつけ医から回答があり、そのうち59.1%が効果ありと感じている結果となった。

	送付数	回収数 (※1)	回収率 (※2)
全体	799人	259人	32.4%
羽生市	5人	1人	20.0%

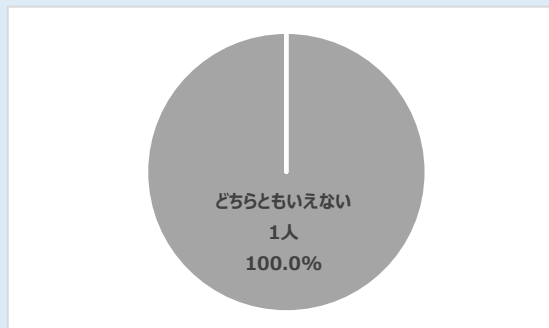
(※1)2月2日回収分まで。回収したアンケートのうち、「設問.保健指導の効果」に回答があるもの
(※2)アンケートの対象者数を母数とした割合

設問.保健指導の効果の内訳

全体



羽生市



「今回の事業の良かった点」についてのご意見は以下の通り。(一部抜粋)

- ・患者さんが自身の病状や生活習慣を見直すきっかけとなり、重症化予防への意識づけには一定の意義があると感じる。
- ・保健指導により意識が変わったのを確認できた。また、実際に数値も改善していた。
- ・自身の健康状態、食事、生活活動度などにより深く関心をもってもらえた。
- ・丁寧な聞き取りや指導をしていただき、患者さんの日常の把握に役立ち、本人の意識の改善に繋がった。
- ・診察のみでは知ることができない患者さんの日々の生活や心情を知ることができた。
- ・患者さんが積極的に糖尿病治療に取り組むようになった。日常生活の問題点を指摘されたことが良かったようである。
- ・患者さんのやる気の変化して前向きな発言が多くなりました。
- ・日常診療の中で十分に患者さんに指導できない点をフォローしていただけるので助かる。

「問題があったと思う点」についてのご意見は以下の通り。(一部抜粋)

- ・期間をあけて何回か電話などをしていただけるとより良いと思います。
- ・糖尿病の患者であれば条件を満たさなくても事業へ参加できるようになればありがたいです。
- ・もっと多くの方が対象になると良い。
- ・重症な人ほど指導を受けたがらない傾向にありますので、そのような人へいかに指導を受けられるように促すかが悩ましいと考えます。
- ・該当症例をもっと増やして、県全体の透析導入者が減るようにもっと腎臓専門医の声を反映した方が良い。

4. 参加勧奨の状況

4. 参加勧奨の状況

電話による参加勧奨の結果、勧奨が実施できたのは全体の42.0%であり、そのうち18.5%が事業参加に繋がった。

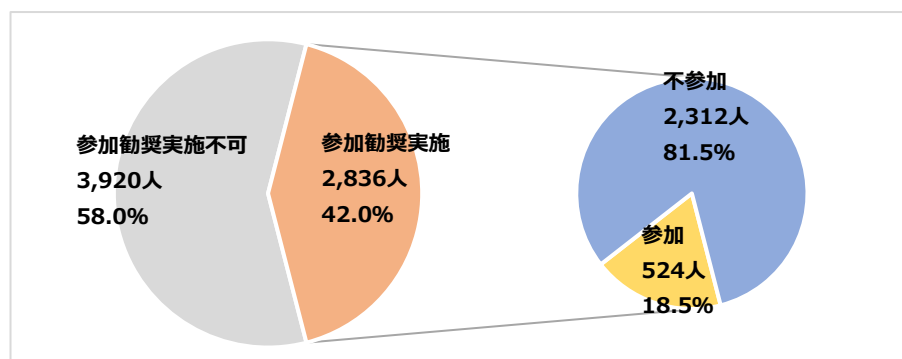
一方、参加勧奨が実施できなかったのは全体の58.0%であり、勧奨期間内で電話が繋がりにくいケースが一定数存在した。

勧奨できたが、不参加と回答した対象者の不参加理由は、「病院等で指導を受けている」「時間がない、忙しい」「自己管理している」が上位を占めた。

医療機関での治療や自己管理を理由に、本事業の必要性を感じにくい対象者が多い状況に加え、時間確保が難しい実態もうかがえる。

今後は、本事業が治療ではなく日常生活に取り入れやすい支援である点を強調した説明を行うとともに、

オンライン面談・時間調整など柔軟な支援方法の提案を行い、参加促進を図る必要がある。

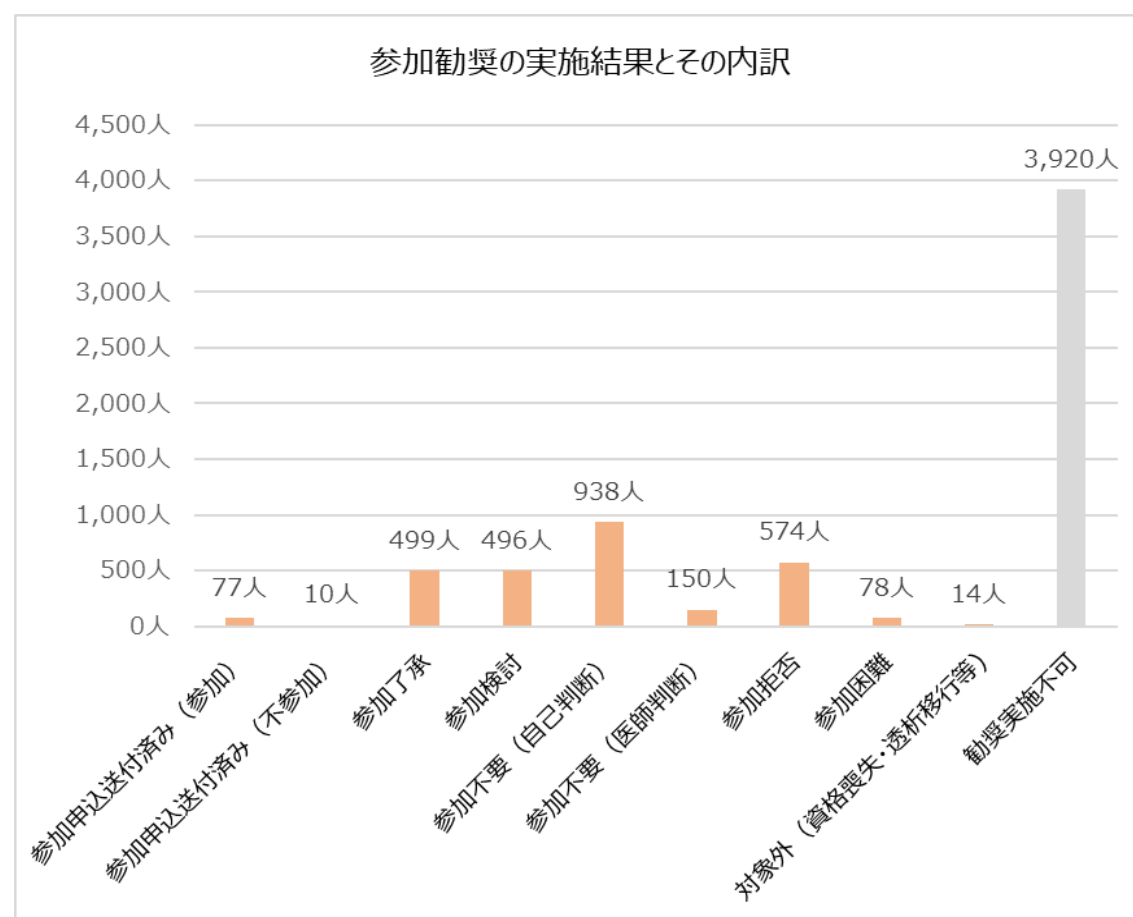


<勧奨実施> 勧奨が実施できたもの

区分	詳細
参加申込送付済み (参加)	参加を希望で既に参加申込書を送付済みと回答
参加申込送付済み (不参加)	不参加を希望で既に参加申込書を送付済みと回答
参加了承	参加に前向きな回答
参加検討	参加勧奨を受けて参加を検討すると回答
参加不要 (自己判断)	自己管理できる、病院で指導を受けていると回答
参加不要 (医師判断)	医師から問題ないと言われたと回答
参加拒否	多忙、参加する意欲がわからない、事業に賛同できない等と回答または回答拒否
参加困難	他疾患あり、日本語対応が難しいと回答
対象外 (資格喪失・透析移行等)	資格の喪失、透析予定、引越済みと回答

<勧奨実施不可> 勧奨が実施できなかったもの

区分	詳細
勧奨実施不可	勧奨拒否、勧奨困難、本人以外対応、不通等の場合



5. サポートセンター受付状況

5. サポートセンター受付状況

通知書送付直後は、問い合わせや辞退申し出の入電が多く見られた。同意書返送期限後は、日程変更に関する問い合わせが最も多く、あわせて辞退・参加申し出の入電も確認された。

通知書をより分かりやすく工夫することで、初期段階での問い合わせや不安の軽減を図ることができると思われる。

▼パターン1通知書発送 (5/23)

▼同意書返送期限 (7/31)

パターン1電話勧奨

▼継続支援通知書発送 (6/16)

継続支援電話勧奨

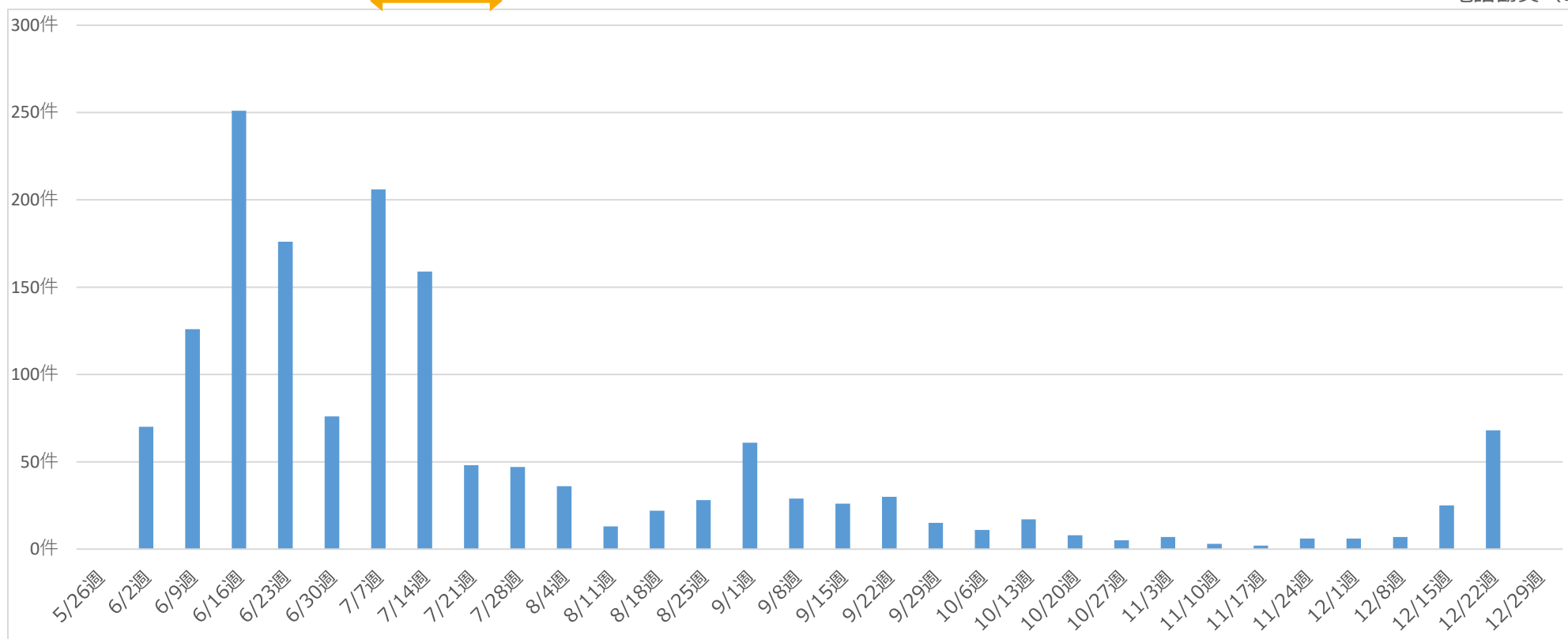
▼パターン2通知書発送 (6/30)

パターン2電話勧奨

▼最終支援
終了時期

▼対象者アンケート発送

▼対象者アンケート
電話勧奨 (12/15)



5. サポートセンター受付状況

時間帯別に見ると、9～10時台から受電件数が増加し、午後は16時台が最も多かった。一方で、11～13時台は比較的少なく、午後にも緩やかなピークが見られた。また、対応可能時間外を受電件数を見ると、144件発生していた。月別で見ると、通知書を送付した6月が最も多かった。対応可能時間外を受電には自動音声で受付時間の案内を行っているが、次年度以降は、対応可能時間をより分かりやすく通知書に明記する必要がある。

